The background of the page features a faint, light gray illustration of two white protective helmets. Each helmet has the 'Xacti' logo on its side. The helmets are positioned symmetrically, one on the left and one on the right, framing the central text.

重機取付型セーフティカメラシステム ドボレコJK SX-DB200

制御ボックス ファームウェアアップデート手順

ご使用前に本書、本体付属の取扱説明書（保証書付）、取扱説明書内の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ドボレコJK(SX-DB200) 制御ボックス ファームウェア アップデート手順

この資料ではドボレコJK(SX-DB200) 制御ボックス (以下、制御ボックス)のファームウェアのアップデート手順について説明します。ファームウェアのアップデートには2つの方法があります。

1. microSDカードを使う方法

“1. microSDカードでのファームウェアアップデート” をご参照ください。

2. USBメモリを使う方法

“2. USBメモリでのファームウェアアップデート” をご参照ください。

ドボレコS(SX-DB100) 制御ボックスの手順は別資料をご参照ください。

ドボレコS(SX-DB150) 制御ボックスの手順は別資料をご参照ください。

1. microSDカードでのファームウェアアップデート

1. microSDカードでのファームウェアアップデート

1.1 用意するもの

物品	備考欄
電源	<p>シガーソケットへ給電可能なもの(12~24V,3A以上) 電源例：</p> <p>①車両  ②ポータブルバッテリー  ③AC/DC変換アダプタ </p>
制御ボックス	起動可能な状態でご用意ください
モニタ	ドボレコJK(SX-DB200)に同梱のモニタもしくはHDMI入力が可能なもの
USBハブ	ドボレコJK(SX-DB200)に同梱のUSBハブ。
USBテンキー	USBキーボードでも可能です。
ファームウェアを入れたmicroSDカード	次ページ“1.1.1.事前準備”で説明します。 制御ボックスに挿入されているmicroSDカードをご使用いただけます。

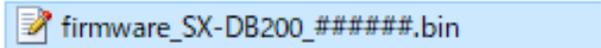
1. microSDカードでのファームウェアアップデート

1.1.1. 事前準備

ファームウェアを入れたmicroSDカードを準備します。

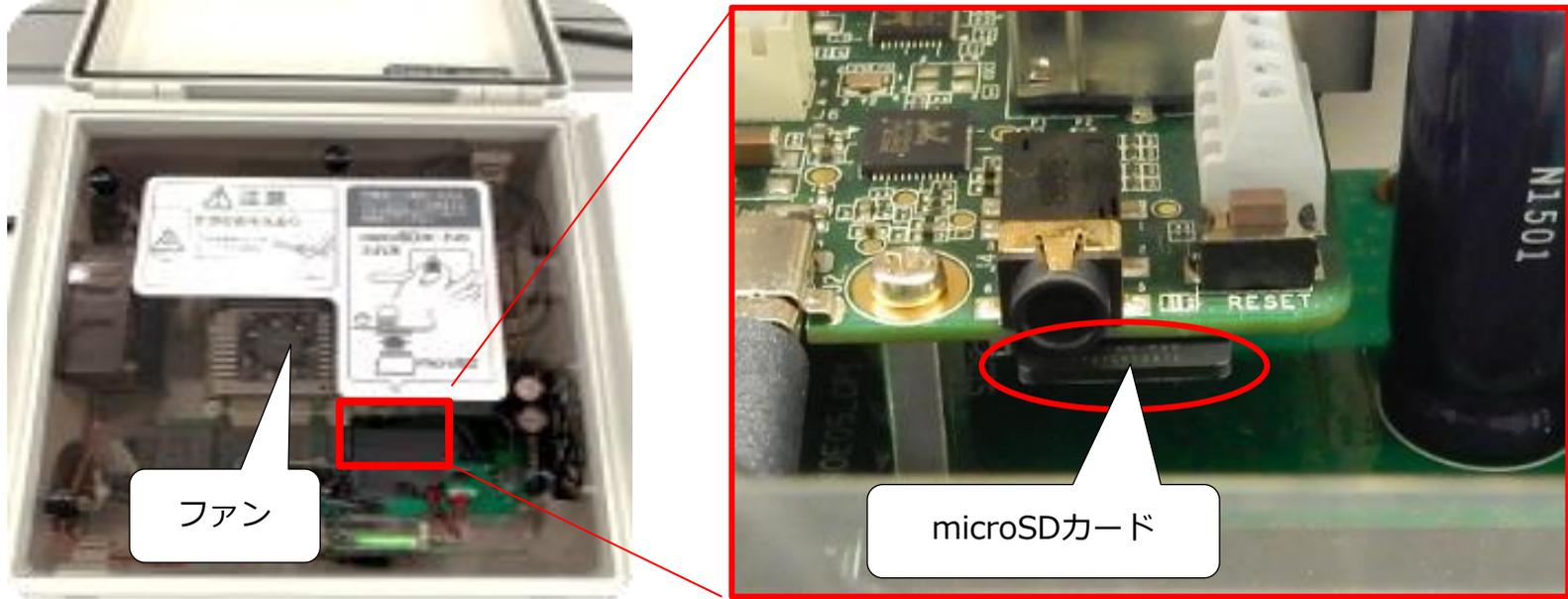
準備作業はWindowsPCで行います。

WindowsPCでmicroSDカードを読めるようにカードリーダーやSDカード変換アダプタをご用意ください。

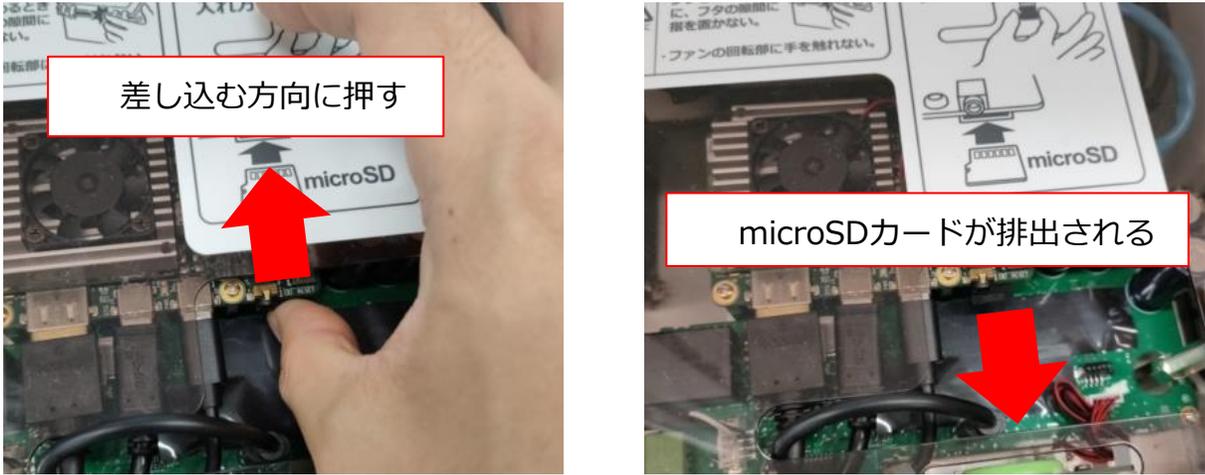
手順	作業方法
1	弊社ホームページ(以下URL) からファームウェアをダウンロードしてください。 ※ダウンロード手順はホームページ上に記載しています。 https://xacti-co.com/support/dl_center_doboreco/sx-db200/
2	WindowsPCに空のmicroSDカードを接続します。 必要ならばmicroSDカードリーダーをご用意ください。
3	microSDカード内にファイルやフォルダが保存されていないことを確認します。
4	microSDカードのルートディレクトリ（直下のディレクトリ）にファームウェアを保存します。  ※ファイル名はバージョンによって異なります。#部分にはバージョン名が入ります。
5	ファームウェアのファイル名をfirmware.binに変更します。  ※firmware.binはファームウェアアップデート時に自動的に消去されます。

1. microSDカードでのファームウェアアップデート

1.1.2. 制御ボックスからmicroSDカードの取り出し方

手順	作業方法
1	<p>システム電源がOFFの状態ですべての制御ボックスを開けてください。電源OFF直後は制御基板のファンがまだ回っている可能性があるため、ファンが止まるまでお待ちください。 下図赤丸の箇所にmicroSDカードが刺さっています。</p>  <p>The image consists of two photographs. The left photograph shows the interior of a control box with a fan and a printed manual. A red rectangular box highlights the location of the microSD card slot. A callout bubble labeled 'ファン' (fan) points to the fan. The right photograph is a close-up of the green PCB, showing a 'RESET' button and a slot. A red circle highlights the slot, and a callout bubble labeled 'microSDカード' (microSD card) points to it.</p>

1. microSDカードでのファームウェアアップデート

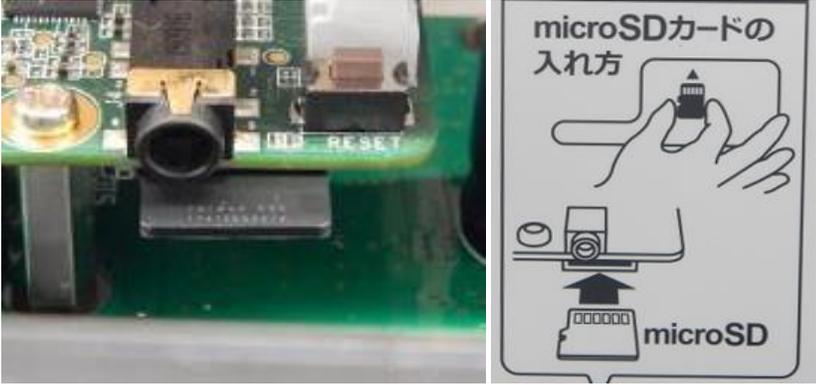
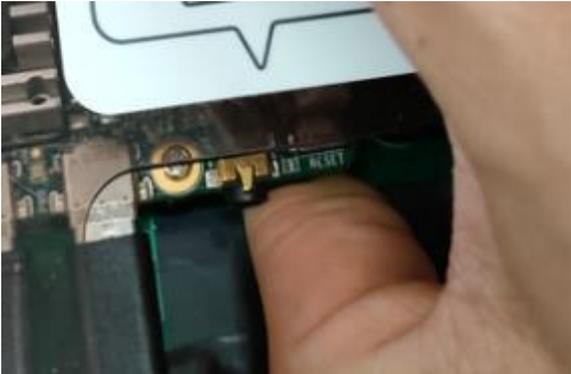
手順	作業方法
2	<p>microSDカードを差し込む方向に軽く押ししてください。 小さくカチッと音が鳴り、microSDカードのロックが解除され、microSDカードが押し出されます。</p> 
3	<p>microSDカードを取り出します。</p> 

1.2. ファームウェアアップデート手順

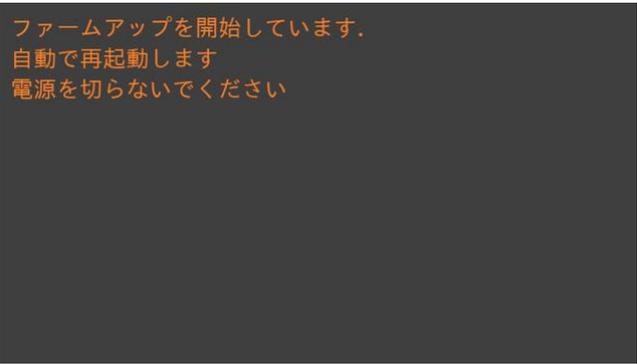
ファームウェアアップデートの作業手順を説明します。

手順	作業方法
1	<p>制御ボックスにUSBハブを接続します。</p> <p>接続前：</p>  <p>接続後：</p>  <p>USBハブ</p>
2	<p>USBハブにテンキーを接続します。</p>  <p>USBテンキー</p>

1.2. ファームウェアアップデート手順

手順	作業方法
3	<p>ファームウェアをコピーしたmicroSDカードを制御ボックスに差し込みます。 新規のmicroSDカードを使用する場合は、制御ボックスに挿入済みのmicroSDカードを取り出す必要があります。 取り出し方は” 1.1.2. 制御ボックスからmicroSDカードの取り出し方”をご参照ください。 microSDの切り欠きの向きを保護カバーの表示に合わせてください。</p> 
4	<p>指でmicroSDカードを奥まで押し込んでください。 カチッと音が鳴り、microSDカードが固定されます。 指を離したときにmicroSDカードが押し戻された場合は再度押し込んでください。</p> 

1.2. ファームウェアアップデート手順

手順	作業方法
5	<p>電源を制御ボックスに接続し、制御ボックスを起動します。</p> <p>接続前：</p>  <p>制御ボックス 電源</p> <p>接続後：</p>  <p>ファームウェアアップデートが開始されると、自動的に制御ボックスが再起動します。制御ボックス再起動後、2分程度ファームアップ中表示の起動中画面が表示され、その後、再度制御ボックスが再起動し、メンテナンスモード画面表示になります。ファームウェアアップデートが完了すると、microSDカードに保存していたfirmware.binは自動で消去されます。microSDカード内にsetting.iniが自動で作成される場合があります。不要なsetting.iniは消去してください。</p> <p>ファームアップ中画面：</p>  <p>再起動画面：</p>  <p>メンテナンスモード画面：</p>  <p>name: xc-SX-DB200 [Ver 00.09.03.] メンテナンスモード [テンキーで設定可能] id : 7CD95CB29864 [total time: None] (*) のついている項目はアプリ再起動後に反映 eth0 : 172.21.97.119/24 [7CD95CB29864] 項目 (↑[8]↓[2]) 値 (↑[6]↓[4]) 初期値[5] Gateway: 172.21.97.1 設定 (初期化 [-] 保存 [Enter]) DNS : 172.21.97.109 / 172.21.110.100 アプリ再起動 [*] 終了 [キーボード抜] rtc[O]_regio[×]_i2c[×]_i2c[×]_i2c[×]_tpu[1] CPU/GAM温度: 64°C/37°C SD使用率: 13% ext1[-]_ext2[-]_led[220]_in[0]</p> <p>2024/02/05 録音 SD選択 (*) : 1 16:00:58 REC サーバー選択 (*) : 0 言語 (*) : 2 接続カメラ数 (*) : 0 2カメラ時左右選択 (*) : 0</p>

1.2. ファームウェアアップデート手順

手順	作業方法
6	<p>メンテナンスモード画面が表示されたらファームウェアアップデート完了です。 正しくファームウェアが書き込めたか確認する場合は、画面右下のバージョン情報がダウンロードしたファームウェアのバージョンとあっているかを確認してください。</p>  <p>設定変更が必要な場合は、“3.アップデート後の作業”を実施してください。 変更が不要な場合は、アップデート作業は終了です。 電源を落として、USBハブを制御ボックスから抜いてください</p>

2. USBメモリでのファームウェアアップデート

2. USBメモリでのファームウェアアップデート

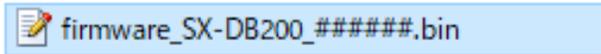
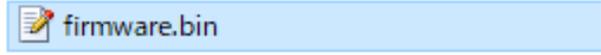
2.1 用意するもの

物品	備考欄
電源	<p>シガーソケットへ給電可能なもの(12~24V,3A以上) 電源例：</p> <p>①車両  ②ポータブルバッテリー  ③AC/DC変換アダプタ </p>
制御ボックス	起動可能な状態でご用意ください
モニタ	ドボレコJK(SX-DB200)に同梱のモニタもしくはHDMI入力が可能なもの
USBハブ	ドボレコJK(SX-DB200)に同梱のUSBハブ。
USBテンキー	USBキーボードでも可能です。
ファームウェアを入れたUSBメモリ	次ページ“2.1.1.事前準備”で説明します。

2. USBメモリでのファームウェアアップデート

2.1.1. 事前準備

ファームウェアを入れたUSBメモリを準備します。
準備作業はWindowsPCで行います。

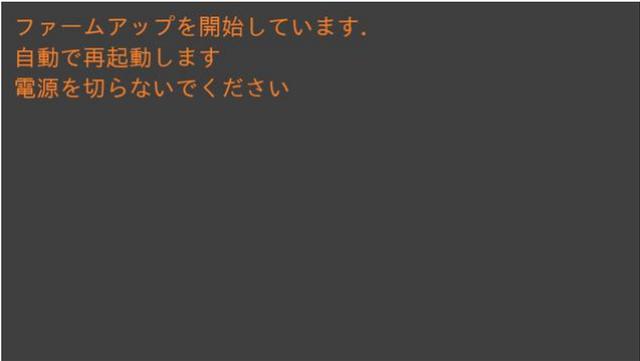
手順	作業方法
1	弊社ホームページ(以下URL) からファームウェアをダウンロードしてください。 ※ダウンロード手順はホームページ上に記載しています。 https://xacti-co.com/support/dl_center_doboreco/sx-db200/
2	WindowsPCに空のUSBメモリを接続します。
3	USBメモリ内にファイルやフォルダが保存されていないことを確認します。
4	USBメモリのルートディレクトリ（直下のディレクトリ）にファームウェアを保存します。  ※ファイル名はバージョンによって異なります。#部分にはバージョン名が入ります。
5	ファームウェアのファイル名をfirmware.binに変更します。  ※firmware.binはファームウェアアップデート時に自動的に消去されます。

2. USBメモリでのファームウェアアップデート

ファームウェアアップデートの作業手順を説明します。

手順	作業方法
1	<p>制御ボックスにUSBハブを接続します。</p> <p>接続前：</p>  <p>接続後：</p> 
2	<p>USBハブにUSBテンキーとUSBメモリを接続します。</p>  

2. USBメモリでのファームウェアアップデート

手順	作業方法
3	<p>電源を制御ボックスに接続し、制御ボックスを起動します。</p> <p>接続前： 接続後：</p> <p>制御ボックス 電源</p> <p>ファームウェアアップデートが開始されると、自動的に制御ボックスが再起動します。制御ボックス再起動後、2分程度ファームアップ中表示の起動中画面が表示され、その後、再度制御ボックスが再起動し、メンテナンスモード画面表示になります。ファームウェアアップデートが完了すると、USBメモリに保存していたfirmware.binは自動で消去されます。USBメモリ内にsetting.iniが自動で作成される場合があります。不要なsetting.iniは消去してください。</p> <p>ファームアップ中画面：</p> <p>再起動画面：</p> <p>メンテナンスモード画面：</p>

2. USBメモリでのファームウェアアップデート

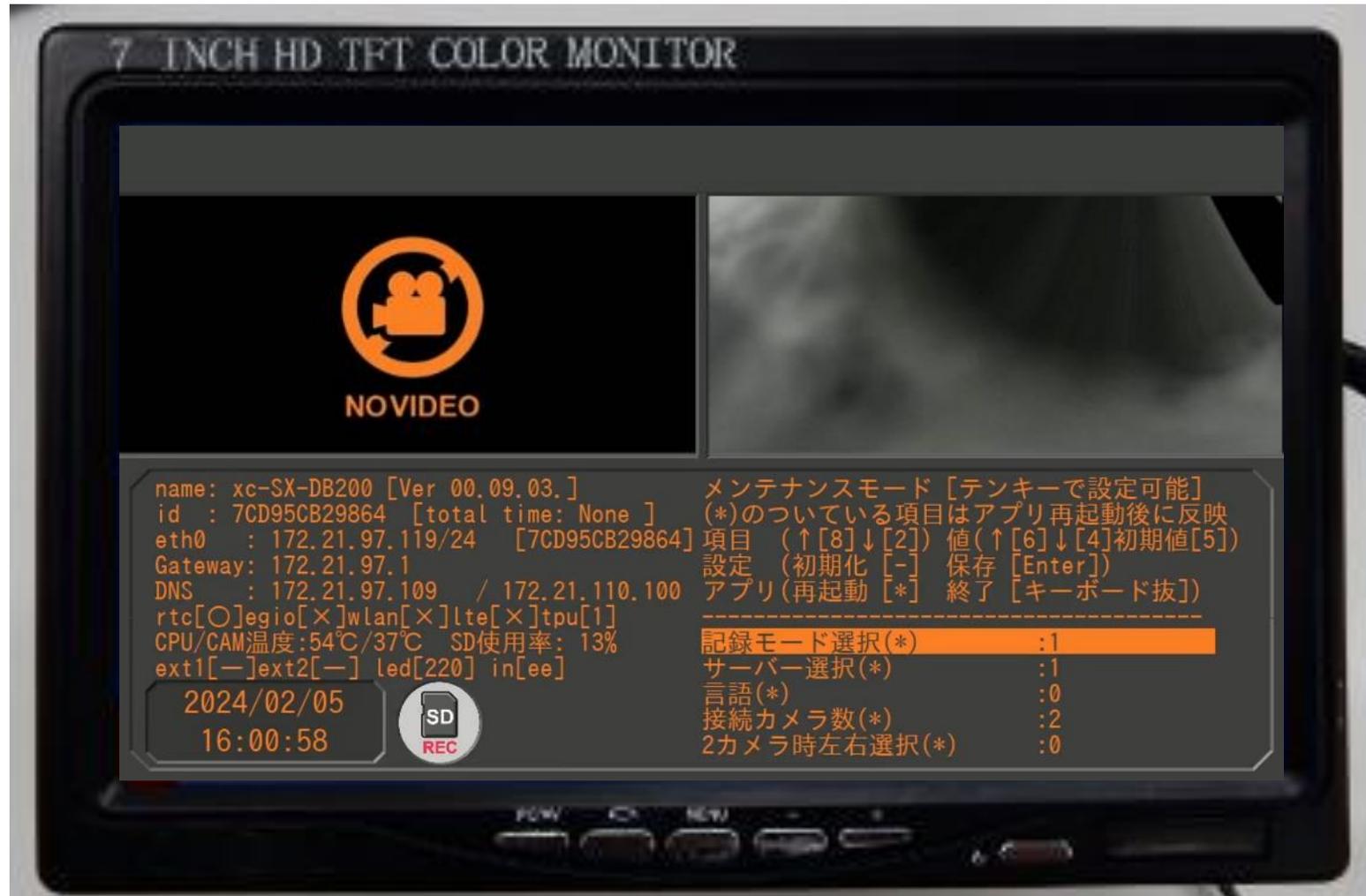
手順	作業方法
4	<p>メンテナンスモード画面が表示されたらファームウェアアップデート完了です。 正しくファームウェアが書き込めたか確認する場合は、画面右下のバージョン情報がダウンロードしたファームウェアのバージョンとあっているかを確認してください。</p>  <p>設定変更が必要な場合は、“3.アップデート後の作業”を実施してください。 変更が不要な場合は、アップデート作業は終了です。 電源を落として、USBハブを制御ボックスから抜いてください</p>

3. アップデート後の作業

3. アップデート後の作業

メンテナンスモード画面での設定の初期化、あるいは変更を行います。

メンテナンスモード画面：

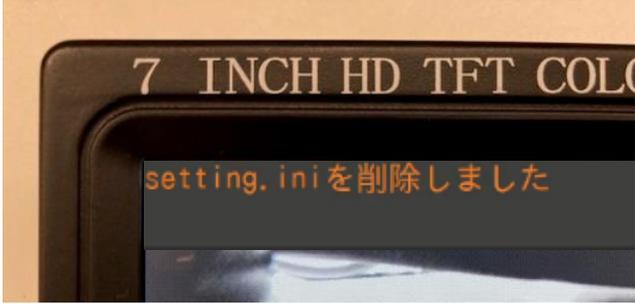


3. アップデート後の作業

メンテナンスモード画面になっていない場合は制御ボックスにUSBハブを接続し、USBキーボードを挿してください。

手順	作業方法
1	<p>制御ボックスに古い設定が記録されていないかを確認します。 ファームウェアアップデート後も古い設定のまま使用することも可能ですが、制御ボックスに古い設定が記憶されている場合、一部の設定が変更できなくなります。 古い設定を削除する場合は設定の初期化を行います。</p> <p>古い設定が入っている状態は2つの方法で確認可能です</p> <ol style="list-style-type: none">1. ドボレコ画面の文字の色が黄色（正常な場合はオレンジ色）2. メンテナンスモード右側の文章に“旧バージョンの設定が読み込まれていません”と表示される（下図参照）  <p>設定を初期化する場合は次ページ手順2へ 設定変更を行う場合は次ページ手順3へ</p>

3. アップデート後の作業

手順	作業方法														
2	<p>制御ボックスの設定値を初期化します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. USBテンキーの“-”(マイナス)キーを押下します。 画面左上に“setting.ini を削除しました”と表示され、旧ファームウェアで記憶していたsetting.iniを削除します。2. USBテンキーの“*”(アスタリスク)キーを押下します。 システムが再起動し、再度メンテナンスモードが起動します。 文字の色がオレンジ色になっていることを確認してください。 														
3	<p>制御ボックスの設定値を変更します。 テンキーによる操作方法は以下の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="384 679 1811 1032"><thead><tr><th>キー</th><th>動作</th></tr></thead><tbody><tr><td>2、8</td><td>項目を上下移動</td></tr><tr><td>4、6</td><td>設定値を増減</td></tr><tr><td>5</td><td>設定値を初期化</td></tr><tr><td>Enter</td><td>設定値を保存。変更箇所はカード上のsetting.iniにも書き加えられます。</td></tr><tr><td>*(アスタリスク)</td><td>ドボレコを再起動</td></tr><tr><td>-(マイナス)</td><td>設定値を初期化 (出荷状態)</td></tr></tbody></table>	キー	動作	2、8	項目を上下移動	4、6	設定値を増減	5	設定値を初期化	Enter	設定値を保存。変更箇所はカード上のsetting.iniにも書き加えられます。	*(アスタリスク)	ドボレコを再起動	-(マイナス)	設定値を初期化 (出荷状態)
キー	動作														
2、8	項目を上下移動														
4、6	設定値を増減														
5	設定値を初期化														
Enter	設定値を保存。変更箇所はカード上のsetting.iniにも書き加えられます。														
*(アスタリスク)	ドボレコを再起動														
-(マイナス)	設定値を初期化 (出荷状態)														

4. 注意点

4. 注意点

- ファームウェアアップデートがうまく行われない場合
microSDカード（USBメモリ）のルートディレクトリ（直下のディレクトリ）にfirmware.binが保存されていることをご確認ください。
ファイル名のスペルが正しくない場合はファームウェアアップデートされませんのでご注意ください。
- ファームウェアが消えてしまう
firmware.binがmicroSDカード上にある場合は、ファームウェアアップデートの成否にかかわらず、自動で削除します。
- SX-DB200制御ボックスのファームウェアはSX-DB200のみがファームウェアアップデートの対象です。
SX-DB200以外のモデルのファームウェアアップデートは出来ません。